資料　報１－３

平成２９年度　中央区長マニフェスト

中央区長　石塚　里栄子

マニフェスト

中央区は、江戸時代から続く湊町としての歴史文化と商業機能や交通インフラをはじめとした都市機能が集積し、地域経済のけん引役としての機能を担っています。
一方で、超高齢社会への対応、中心市街地の空洞化など都市特有の課題も抱えています。
こうした課題に適切に対応するには、「自助、共助、公助」の理念のもと「協働」による取組が欠かせないことから、地域とともに課題解決に取り組む区役所を目指します。
この方針のもと、中央区は今年度、次の４つの取組を重点的に実施します。

１　地域コミュニティのさらなる活性化に向けて、地域との連携を深めます。
２　地域と協働して、安心安全な地域づくりを推進します。
３　自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。
４　新しい区役所で新たな行政サービスを提供するとともに、にぎわいや活力の創出につなげます。

マニフェスト実現に向けた取り組み

１　地域コミュニティのさらなる活性化に向けて、地域との連携を深めます。		
現状（課題）	地域活動の中心的存在である地域コミュニティ協議会の中には、地域課題の克服に向けた他地域の事例提供やスキルアップ、活動拠点の充足を求める声等があります。	
課題解決策	目標	地域コミュニティ協議会と区とが一層連携を深めつつ、地域課題への対応力強化と多様な活動拠点の確保に努めます。
	区職員がコミ協の活動に積極的に参加することで地域課題を共有しつつ、地域の抱える課題に沿った、研修会や視察の場を地域コミュニティ協議会に提供します。 地域コミュニティ協議会の活動拠点の確保に向けて、中央区コミュニティ協議会連絡会とともに地域実情を整理し、学校等既存施設の活用や公共施設の新設改修の際に機能付加するなどの検討を進めます。	
主な取組	・地域コミュニティ協議会の活動を支援 ・地域活動ふれあいの集いの開催 ・他区地域コミュニティ協議会の視察や研修会の開催 ・中央区コミュニティ協議会連絡会との連携を推進	

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	1	達成数	年度末に実施
今後の方針					

2　地域と協働して、安心・安全な地域づくりを推進します。

現状（課題）

福祉、防災・防犯、子どもたちの健全育成など、地域の様々な課題解決のために、地域力の強化が必要です。都市化により地域力が低下し、核家族化が進行する中で、超高齢社会に対応するためには、高齢者や障がい者、子育て世帯が地域で孤立することがないよう、地域、ボランティア、行政などが協働して、支え合っていく必要があります。

東日本大震災以後、防災への意識が高まり、資機材購入の助成など、自主防災組織の活動強化を進めてきました。どのような災害でも、市民一人ひとりが適切な避難行動をとれるような仕組みづくりが必要になっています。

課題解決策

目標	地域との協働により、支え合いによる地域づくりを進めます。

誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らせる「地域包括ケアシステム」を支える地域を目指して、地域住民がつながり、支え合う体制を推進します。また高齢者や子育て世帯が集いやすい場の提供を推進します。

更に、住み慣れた地域で元気に長生きできるよう、健康寿命の延伸に向けて、健診率の向上、食生活の改善のための事業を実施します。

地域で安心して子育てできるよう、保健師、助産師など専門職に相談できる場、仲間づくりができる場を提供するとともに、子育て講座の開催や子育て情報の発信を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を構築します。

都市型災害への対応を図るため、自主防災組織等を対象とした研修会を開催し、災害発生後の初期対応など、地域が主体となる体制づくりを進めます。

また、災害時要援護者対策では、支援者と要援護者の顔の見える関係づくりを推進するとともに、災害に強い地域づくりを進めていきます。

主な取組

・地域包括ケアシステムの構築に向け、地域主体の支え合い・助け合い活動を支援
・健康寿命延伸事業
・みんなでつながる子育てほっとサポート
・中央区ハイパージュニアレスキュー訓練の実施
・中央区災害時要援護者支援推進事業

取組結果

主な取組の指標達成状況	**設定数**	5	**達成数**	年度末に実施

今後の方針

３　自然、文化、歴史などの地域資源を区民が共有し、誇りを持てる地域づくりを推進します。

現状（課題）

中央区は、国内外の玄関口である新潟港や新潟駅、朱鷺メッセをはじめとする MICE 施設など高次都市機能が集積しています。一方で、日本海や信濃川、鳥屋野潟といった豊かな自然と本市初の国名勝に指定された旧齋藤家別邸や芸妓文化、北前船に連なる発酵食の製造など、歴史に根差したみなとまち文化の伝統を感じることもできます。外国人を含む来街者からこうした地域資源を楽しみ回遊してもらうには、何よりも区民が区の魅力を共有し、楽しみ、シビックプライドを涵養していくことが必要です。

課題解決策

目標	地域との連携・協働により、中央区の自然、文化、歴史など、地域の魅力の共有を図り、シビックプライドの涵養につなげます。 開港１５０周年に向けて、みなとまちとしてのアイデンティティの定着をはかります。

区民が特色ある地域資源にふれられるよう、引き続き関連事業を展開するとともに、積極的に情報を発信します。所管文化施設の管理を行うとともに、これらの施設を含む区内の回遊性を高めるための環境整備を進めます。

主な取組

・中央区えんでこ（まち歩き）事業
・伝統文化 PR 事業
・発酵食産業ＰＲ事業
・外国人文化体験事業
・オフィスアートストリート
・「とやの物語《NEW STORY》」の開催
・文化施設（旧齋藤家別邸・旧日本銀行新潟支店長役宅）の管理運営
・健幸サイクル環境整備事業（ぐるりん新潟島）の推進
・駐輪場の整備と自転車等駐車場の PR
・区民協働森づくりの推進

取組結果	**主な取組の指標達成状況**	**設定数**	4	**達成数**	年度末に実施

今後の方針

４　新しい区役所で新たな行政サービスを提供するとともに、にぎわいや活力の創出につなげます。

現状（課題）		行政庁舎の老朽化や耐震対応の不備から、行政機能の再編が課題となっていました。また、中心市街地の古町地区では店舗の閉鎖や撤退が続き活力の低下が進行しています。 これらの課題を解決する方策として、行政機能の一部、中央区役所を西堀に移転することとなりました。 中央区は、昼間人口が増加する傾向があり、多くの人が利用する区役所です。これまでも市民満足度の向上を図るため、窓口改善運動に取り組んできましたが、中央区役所がＮＥＸＴ２１に移転することにより、さらに利便性を高めるとともに、本庁と兼ねていた災害対策本部などの機能を強化することが必要です。
課題解決策	目標	行政サービスの改善に取り組み、市民満足度の向上を図るとともに、区役所としての行政機能の強化を図ります。 区役所移転をきっかけとして、まちの活性化を推進します。
		区役所を訪れた人にとってわかりやすいレイアウトの導入や、なるべく一つの窓口で多くの手続きができるような仕組みづくりなど、新たな行政サービス提供の仕組みを実現します。また、災害対策本部としての機能充実を図ります。 中央区役所移転記念として、ＮＥＸＴ２１のアトリウムを活用した、まちなか活性化イベントを開催するとともに、その後の利活用につなげます。
主な取組		・中央区役所移転整備事業 ・中央区サービス憲章に基づく業務改善の推進

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	1	達成数	年度末に実施
今後の方針					